

片頭痛の注射薬 3 剤の特徴

【3剤共通した特徴】

(薬の添付文書、治験や企業のデータ、厚生労働省のガイドラインを参考に
2025年1月時点のI&T 胃腸と脳のクリニック 頭痛外来の私見として作成)

- ・ 飲み薬より強力で片頭痛を予防できる可能性がある
- ・ 頭痛が月4日以上ある、飲み薬の片頭痛予防薬が無効などの条件が必要
- ・ 月1回、または4週間ごとに注射する
- ・ 注射は予防接種のように腕の皮膚に行うが、お腹や太ももでも可
- ・ 効果の有無は3回注射時点でいったん判定。以降も1～2年程度で注射頻度を減らせるかなど検討は必要
- ・ 薬代が高額(4万円前後)
- ・ 18歳未満は治験中(=当院では行っていませんが、専門施設に紹介し相談余地はありえます)
- ・ 妊婦さんでは安全性が完全には確認されていない(=当院では行っていません)

薬剤名	エムガルティ	アジョビ	アイモビーグ
1本あたりの薬価/注射間隔	42500円程度/ 1カ月(30-31日) ※初回だけ2本注射も可	39000円程度/ 4週間(28日) ※3本/12週間で注射も可	39000円程度/ 4週間(28日)
製剤	シリンジ、 オートインジェクター	シリンジ、 オートインジェクター	ペンのみ
液量	1.0mL	1.5mL	1.0mL
副作用	アレルギー、注射部位反応(赤み、 痛みなど)、便秘、めまいなど	アレルギー、注射部位反応など	便秘、傾眠(運転注意) 、アレル ギー、注射部位反応など
作用機序	痛みを感じさせる物質(CGRP) の捕捉	左に同じ(CGRPの捕捉)	CGRPが作用する部位(受容体)のブ ロック
日本人の長期データ	～18カ月	～15カ月	～100週間(約2年)